



新たな気持ちで記念撮影（黒坂保育所）

保育所入所式
4月4日、黒坂保育所（黒坂）ひのっこ保育所（津地）で平成17年度の保育所入所式が行われました。
入所式では、保護者が見守るなか、保育所長から園児一人ひとりに「出席ノート」が手渡された後、全員で「チュウリップ」を大きな声で合唱。新しい友達ができた喜びいっぱいの入所式になりました。
今年度は黒坂保育所が23名（うち新規5名）、ひのっこ保育所が63名（うち新規15名）の入所となりました。

まちの話題

あなたの声や地域、職場での話題をお寄せください。

☆役場総務企画課まで（電話72・0331）

きょうからまたいっしょだね



さっそくみんなで遊んだよ！



西村さん（右）ありがとう！（ひのっこ保育所）

木のぬくもりをプレゼント

町内保育所に木のおもちゃ

3月25日、西村喬宏さん（根雨）が、ひのっこ保育所（津地）に木のおもちゃをプレゼントしました。

西村さんは、釣具店を営みながら木工土産品を製造販売。新しい保育所の完成記念と孫の入所を機に、自分にできることで役立つこととはないかと考え、特技を生かして木のおもちゃをプレゼント。木のおもちゃは、ウサギ、ソウ、キリンなどの動物の形をした組み木など約70点。

西村さんは、手作り木のおもちゃの温かさを感じてほしい」と話し、子どもたちは、さっそく手に取って遊んでいました。

また、西村さんは4月8日には黒坂保育所にも木のおもちゃを約50点プレゼントしました。



ふるさとの「歴史」を守る

これが「坊主石」!



古い街並みに歴史を感じて

せせらぎに癒されながら

おしどりウォーク大会

出雲街道を散策しながら、魅力を再発見してもらおうと、3月27日、第2回癒しの水音めぐり・おしどりウォーク大会（同実行委員会）が行われました。

今も風情が残る出雲街道や宿場町など地域の魅力を発信しようと企画された大会も2回目。

今年も大会には、町内外から約2000人が参加しました。コースは、町商工会館前を発着点に、歴史の面影を残す宿場町（根雨街部）を通り、金持神社で折り返す約8キロ。参加者は春の陽気のなか様々な旧跡をたどり、街道沿いを流れるせせらぎの音に心癒されながら、すがすがしい汗を流しました。

守れ! まちの遺産

「坊主石」 屋根付けボランティア

その昔、たたら炉床の基礎として使われていたという「坊主石」。粘土質で風化の早いこの石を守るため、町ボランティアセンターが廃材等を利用した屋根を付けるボランティア作業を行いました。町歴史民俗資料館の敷地内にあるこの石は、昭和58年に下菅地内で発見されたもので、郡内でもこの2個しか確認されていないという大変貴重なもの。

日野の産業を支えてきた坊主石。まちの歴史を今も語りつづけています。

ハンデをのりこえ自立を

社会就労センター「セルフひの」開所



地域交流の拠点に



開所の喜びを語る景山理事長

知的障害のある方の自立支援のための作業所として地域に親しまれてきた、わかつり作業所日野分場（根雨）が、このたび「社会福祉法人祥和会 社会就労センター「セルフひの」として新しくスタートしました。

4月6日に行われた開所式では、景山峻吾 祥和会理事長が「作業を通じて仲間たちと共にハンデをのりこえて自立し、また地域との共生を図ってほしい」とあいさつ。出席した利用者、職員と共に新たなスタートの喜びを分かちあいました。「セルフひの」の利用者定員は20名、現在は日野郡在住者を中心とした17名が通所しています。